

2. 生活の管理と契約① (ルールや約束、契約の理解・選択)

～クレジットカードとキャッシュレス化～

指導上の留意点

国は東京オリンピック、パラリンピック開催に向けた環境整備として、非現金決済（以下「キャッシュレス決済」という）の普及による利便性、効率性の向上を図るとともに、商取引活性化や新たなビジネス創出を目的として、国民一体となってキャッシュレス化推進に取り組む方針を決めた。しかし、利便性の裏には、デメリットが存在する。キャッシュレス決済が一般的になりつつある今、そのメリット・デメリットを知り、計画性のある合理的な使い方ができるようになることをめざす。

各問についてのポイントと解答例

- ① 高校を卒業すると、クレジットカードや大学内で決済できるIDカードをもつこともある。教材⑤の参考を見て、キャッシュレス決済にはいろいろな種類があり、それぞれの特徴やメリット・デメリットを知ることによって計画性のある合理的な使い方ができるようにさせる。成年年齢が18歳に引き下げられた場合、高校生であっても未成年ではなくなるので、契約主体としての自覚をもつ必要があることを認識させる。

種類	メリット	デメリット
クレジットカード	使える店が多い、現金不足でも支払える、暗証番号入力なら他人が使えない、紛失・盗難時保険がある など	申込時に詳細な個人情報を記入する、1か月の支払金額がわかりづらい、使いすぎる など
電子マネー (ポストペイ)	チャージ不要、残高不足にならない、紛失・盗難時保険がある など	盗難に長期間気づかないと補償されない、使える店に限られる など
プリペイドカード (商品券など含む)	使いすぎない、そのままプレゼントできる、使える店が多い など	チャージすることが煩わしい、本人以外でも使える、有効期限があるものもある、発行会社破産時全額返金されないこともある など
デビットカード	即時決済なので使いすぎない、審査なしで発行、ATM手数料不要 など	年会費が必要なものがある、知らぬ間に預貯金が減る、使える店が少ない など
モバイル決済	カード所持不要、いつでもどこでも決済可、年会費など不要、チャージ不要、紛失・盗難時保険、ロックできる など	不正アクセスやアカウント乗っ取りの危険がある など

解答例

メリット：(共通)ポイントが貯まる・現金を持ち歩かなくてもいい など

- ② 設問①のデメリットからトラブルやその原因を考える。

解答例

支払いの感覚がなく使いすぎる、支払総額がわからなくなる (原因：現金で支払っていないので把握できない)
 紛失に気づかないと補償されない (原因：現金を見ないので紛失に気づきにくい)
 本人以外が使えるものがあるので不正使用できる (原因：盗難にあっても自分のものである証拠がない)
 有効期限内に使用しないと無駄になる (原因：有効期限を設定しているものがある)
 プリペイドカードは発行会社破産時に返金されない場合が多い (原因：会社の経営状況を知らない)
 ネットで利用するものは不正アクセス・アカウント乗っ取りの危険がある (原因：ID・パスワードの設定が簡単、複数サイトで使い回している、信用できるサイトか確認していない) など

- ③ キャッシュレス決済の利便性や合理的な使い方を考えたうえで、消費者市民としての行動を考える。

解答例

収支バランスを考える、デメリットを知ったうえで注意して使用する、ポイントやプレゼントなどに惑わされずクリティカル (批判的) な視点をもつ、使いすぎだと思われる人にはアドバイスする、失敗した場合は泣き寝入りせず公的機関などに相談する、企業に「使いすぎないシステムの導入」を提案する など

用語：アカウント、情報リテラシー 参考用語：リボルビング払い (リボ払い)、ビッグデータ